

社会福祉法人 未来こどもランド

児童発達支援 すまいる・キッズ&すまいる・ツリー支援プログラム

法人理念

『こどものため 保護者のため 地域のため』

事業所情報

事業所名 社会福祉法人未来こどもランド 児童発達支援 すまいる・キッズ

法人理念 『こどものため 保護者のため 地域のため』

支援方針

- ・発達のサポートを必要とする子どもの持っている力を引き出す。
- ・発達支援を必要とする子どもの家族をサポートしていく。
- ・保護者同士の交流や情報交換ができる機会を設けていく。

営業時間 10:00～17:00

送迎実施の有無 なし



主な行事等 日本古来の伝承行事に親しむ機会の提供(こどもの日・七夕・お月見・節分・ひなまつり)

職員の質の向上

アセスメントに関する研修の受講 『Vineland II 適応行動尺度』

外部研修の受講 『虐待防止と権利擁護・人権と尊厳』『感染症まん延防止・安全確保・リスクマネジメント』『地域共生社会の実現に向けた分野』『専門職としての知識・技術に関する分野』

内部研修の受講 『虐待防止及び身体拘束の適正化』『感染症等まん延防止』『自然災害』

内部訓練『不審者対応訓練』『感染症まん延防止訓練』『自然災害時対応訓練』『避難訓練』

人間関係・社会性

●安定した安心感や人への信頼感を持てるように、受容的・肯定的・応答的な個別の関わりと、集団療育を行う。

・困りごとの原因に着目し、本人理解に基づいた環境調整を行う。(過敏や鈍麻への対応、予定表、座面シート等)
・十分なひとりあそび・模倣・共同あそび・集団参加等、発達段階にあったあそびの提案を、個別や集団で行う。

認知・行動

●認知特性に応じた視覚・聴覚・触覚などの感覚を十分に活用し、必要な情報を収集しやすいよう、色・音・写真・絵・道具を使った認知機能の発達を促す支援を行う。

・おしとくボードや工作の手順書等、活動の中で情報を理解し、選択や自発的行動につながるように環境設定する。
・将来ずっと困る行動を適切な行動に置き換えることや、起こりにくい環境設定をすることで行動障害を予防する。

健康・生活

●健康状態の把握と対応や、生活に必要な基本的スキル獲得に向けた支援、本人に分かりやすい生活環境の調整を行う。

・保護者からの聞き取りや、きめ細やかな観察により療育内容の調整を行う。
・パーティション・視覚ツール等、生活の場における環境の工夫を行いながら、身支度や持ち物の管理等の身辺自立に向けた支援をする。

支援内容

【本人支援】

『児童発達支援ガイドライン』に基づく5領域の視点等を踏まえたアセスメントを行い、発達段階・特性・ニーズに応じた『個別支援計画』を作成している。
『個別支援計画』に沿った日々の課題設定をし、好きなことや関心のあることをきっかけに“楽しい”と感じながら取り組める創意工夫をしている。



言語・コミュニケーション

●発声・意思の伝達・言語理解・構音・言語形成・言語表出・やりとりに必要な基礎的スキル獲得につながるあそびや場面設定を行う。

・運動あそびを通じて発声の基礎となる体づくりを行う。身振りや音声の模倣を促すあそびを行い、構音の基礎づくりを行う。
・各種教具を通じて、物・音・経験を相手と共有する機会を提案する。ペープサートや歌等を通じて、相手に注目する機会を提供する。
・理解言語が増えるように、物や行動、感情に分かりやすい言葉を添えていく。
・表出言語が増えるように、意思表示する機会を提供し、伝える意欲を大切にする。意思疎通手段として、サインやカード等を必要に応じて提案し、意思表現や自己決定を支援する。
・文字やイラスト等で特性に応じた言語理解を支援する。筆記補助具や砂文字等で特性に応じた読み書きを支援する。
・コミュニケーションが円滑になるように、非言語スキル(目線・表情・身振り・声のトーンや大きさ)も合わせて支援する。

運動・感覚

●日常生活や学習の基本となる姿勢保持や、怪我をしにくい体、行動の調整ができる力を、あそび等を通じて支援していく。感覚プロフィールによる評価を活用し、感覚特性にあった環境調整や関わり方、あそびを行う。

・体育館にて、各種運動遊具(トランポリン・ハンモック等)を使った、粗大運動や感覚あそびを行う。各種感触グッズ(スライム・粘土等)を使った感覚あそびを行う。
・机上や遊戯室にて、はさみや筆記具、衣服の着脱等、身近な道具操作につながるあそびを行う。
・個別空間の確保やイヤマフの活用等、感覚特性やその日の状態を踏まえた環境調整を行う。

支援内容

本事業所が、本人や家族にとって安全で安心して過ごせる居場所のひとつになるように心がけている。また、『家族支援』を通じてこどもの暮らしや育ちの安定を支援している。こどもが多くの時間を過ごす家庭や地域が安心できる場になるように『移行支援』『地域支援』『地域連携』を行っている。

【家族支援・移行支援・地域支援・地域連携】



家族支援

- ・保護者会(2回/年)
- ・保護者交流会(職員による情報提供)(保護者懇談)
(法人内相談支援専門員も参加)
- ・年2回以上の個別面談
- ・保育園主催・地域交流事業への紹介(園庭開放・給食体験)
- ・『きっずだより』発行(毎月)

地域支援・地域連携

- ・法人内コミュニティーカフェにて『こども食堂』を開催
- ・こども家庭支援センターや保健相談所との連携



移行支援

- ・関係機関との連携(併用先の幼稚園・保育園)
- ・進路や移行先についての相談援助
- ・就学支援シートの作成
- ・関係者会議への参加(保護者・相談支援専門員・他事業所・幼稚園・保育園も必要に応じて参加)